

第19回全国修学旅行研究大会

修学旅行はすべての児童生徒にとって最大の期待と関心を寄せる学校行事であり、その後の人間形成にも大きな影響を及ぼす教育活動であります。新しい教育では、体験学習を重視し、「生きる力」の育成を目指していますが、平素と異なる生活環境のもとで見聞を広め、様々な体験を積むことができる修学旅行は、ますます価値ある教育活動として位置付けられていくものと考えます。

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会ならびに財団法人 全国修学旅行研究協会は、これらのことを踏まえ、修学旅行の改善向上に努めてまいりました。

新しい修学旅行の創造を目指し、文部科学省をはじめ関係教育機関のご指導とご後援により、「みんなで創ろう、21世紀の修学旅行」を主題とする全国修学旅行研究大会を開催いたしました。

1. 主催 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
財団法人全国修学旅行研究協会
2. 後援 文部科学省 都道府県教育長協議会 全日本中学校長会
愛知県教育委員会 岐阜県教育委員会 三重県教育委員会
名古屋市教育委員会 愛知県小中学校長会 愛知県教育振興会
3. 協賛 東海三県中学校修学旅行委員会
4. 大会テーマ 「みんなで創ろう、21世紀の修学旅行」
5. 日時 平成14年11月22日(金)
受付12:30 開会13:00 閉会16:30
6. 会場 ルブラ玉山(名古屋市千種区覚王山通8-18)
7. 研究会
 - 1) 実践研究発表
「主体的にとりくむ修学旅行」三重県四日市市立西陵中学校教諭 坂倉徳子
「自ら考えともに学ぶ修学旅行」 総合的な学習「ともに生きる」の中に位置づけて 愛知県稲沢市立明治中学校教諭 横田里志
 - 2) 研究協議
 - 3) 指導講評 愛知県教育委員会義務教育課指導主事 岡田豊先生
 - 4) 講演 文部科学省初等中等局視学官 宮川八岐先生